

6月3日(水曜日)「正しい者の祝福」

【新改訳 2017】

詩篇 5・1－12

「主よ。まことに、あなたは正しい者を祝福し、大盾で囲むように愛で彼を囲まれます。」(12節)

この詩篇は、おそらくダビデ王が、息子アブシャロムの反逆に苦悩していた時のものと思われます。

まず、神は「正しい者」を祝福されると確信しています。「正しい者」とは、創造主なる神との関係が正しい者を指すと言われます。神との関係が正しいとはどうゆうことでしょうか。この詩篇では、正しくない関係と併せて記されています。正しくない関係—悪を喜ぶこと、誇り高ぶること、不法を行うこと、偽りを言うこと、

血を流したり欺いたりすることなどです。正しい関係一神を自分の神とすること、自分の王とすること、ひれ伏して礼拝することなどです。また、日夜、神に信頼し、御名を愛し、神を誇ることなどです。このような信仰の人を、神は大きな愛で取り囲んでくださるのです(IIコリント5・14 参照)。

～祈り～

主よ。どうかこのしもべも、正しい者であり続け、あなたの祝福とご愛で囲まれ続ける者であらせてください。

【学びのために】

(参考区分) 1-3 節 神への嘆願、4-7 節 神は悪を退ける、8-12 節 さばきを求める祈り。

「主に身を避ける」(2・12、5・11)とは、単なる逃避ではありません。それは、神への信

頼であり、そこで主に守られ、癒され、教えられ、回復され、整えられることも含みます。